

# 都市フォーラム26号

東北都市学会通信（通巻26号）

2012年9月30日

<http://www.senkyo.co.jp/tau/index.html>

## 主なトピック

- ・東北都市学会 2012 年度大会のお知らせ
- ・2012 年度大会発表等の申込
- ・石巻支部会の開催
- ・『研究年報』第 13 号特集論文の募集
- ・会員の状況
- ・2012 年度会費納入のお願い
- ・事務局から

## 東北都市学会 2012 年度大会のお知らせ

学会 HP でもご案内していきますが、東北都市学会 2012 年度大会は 11 月 10 日(土)・11 日(日)に宮城県石巻市で開催することとなりました。10 日の午前には石巻市内の被災および復興現場見学のエクスカーション、同日午後には会員の研究発表・会員会と懇親会、11 日の午前には公開シンポジウム「復興とボランティア活動」、同日午後には分科会と若月氏による文化講演会を行います。会場は「石巻専修大学 5 号館」(宮城県石巻市南境新水戸 1 番地)です。

会員の皆さんのご参加をお待ちしています。大会要項は次のとおりです。自由研究発表への申込もお待ちしています。

### [2012 年度大会開催要項]

日程 11 月 10 日(土)～11 日(日)

会場 石巻専修大学 5 号館

### [プログラム]

10 日(土)

- 8:30～12:00 エクスカーション
- 12:15～12:45 理事会 (2012 年度第 2 回)
- 12:50～13:20 会員会
- 13:30～17:00 研究発表 (2 会場)
- 17:30～19:30 懇親会 河北ホール

11 日(日)

- 09:00～12:00 公開シンポジウム
- 12:00～13:00 昼休み&演奏会
- 13:00～14:05 公開シンポジウム分科会
- 14:10～15:30 特別文化講演会

## 2012 年度大会研究発表の申し込み

2012 年度大会における自由報告の発表を募集いたします。以下の発表申し込み要領、発表要旨作成要領ならびに発表要領をご覧の上、電子メール、または同封の発表申し込みハガキに必要事項を記入し、学会事務局にお送り下さい。

### [発表申し込み要領]

- ・発表の申し込みはできるだけ電子メールを使用して下さい。  
[matsumoto.m@fukushima-nct.ac.jp](mailto:matsumoto.m@fukushima-nct.ac.jp)
- ・発表申込締切は **10 月 14 日** です(必着)。
- ・共同発表の場合は、すべての共同者の名前を書き、発表者には○印をつけて下さい。また、発表者は 4 人以内とします。
- ・取り消しの必要が生じた場合は、直ちに事務局に連絡して下さい。

### [発表要旨作成要領]

発表要旨は次の要領で作成してください。

- ① A4 サイズの用紙を使い、ワープロで作成しプリントアウトして下さい。印刷余白は上下左右とも 25mm とって下さい。
- ② ページ設定を 40 字×40 行にしてください。
- ③ 発表題目は 16 ポイント・ゴシックに指定し、センターに置いて下さい。副題は 12 ポイント・ゴシックにして下さい。
- ④ 名前(所属)は 12 ポイントにし、右に揃えて下さい。
- ⑤ 題目と名前の間、および名前と本文の間に 1 行余白を入れて下さい。
- ⑥ 本文は 12 ポイントにしてください。
- ⑦ 要旨は、A4 用紙 2 枚に収めて下さい(一人分です。共同の場合は 6 枚以内です)。
- ⑧ 要旨はなるべく電子メールによる添付ファイルで提出してください。郵送の場合は、A4 の用紙を折らないように大きい封筒をお使

い下さい。

- ⑨ 発表申込締切は10月14日です。発表要旨の送付締切日は10月28日です。厳守をお願いします。
- ⑩ 要旨のフォーマットは学会HPに掲載しますので、そちらもご活用ください。

要旨の送付は電子メールを使用して下さい  
([matsumoto.m@fukushima-nct.ac.jp](mailto:matsumoto.m@fukushima-nct.ac.jp))。

#### [発表要領]

- 発表内容は、都市に関する研究報告、調査研究報告、都市施策・まちづくり・地域づくり等の実践報告を主とします。
- 個人発表の場合は発表、質疑応答、交代時間を含めて40分(注:発表者が多い場合は30分)とします。今年度は共同発表も同時間とします。
- いずれも時間を厳守して下さい。
- 発表の際には、発表レジュメあるいは発表資料をできるだけ用意して下さい。

#### 石巻支部会の開催

今年度は大会開催に向けてベガルタ仙台の斎藤美和子会員を中心として精力的に活動が続いています。支部会テーマは主に今秋開催の石巻大会となり、第1回は2012年5月7日、第2回は6月4日、第3回は9月3日に行われ、大会開催に向けて活発な意見交換がなされました。

#### 『研究年報』第13号特集論文の募集

『研究年報』第13号は2012年度末発行を目指して編集を行っております。そして13号から東日本大震災関連の特集論文を募集いたします。会員の皆さまが現在関わっている復興の調査研究等の報告を目的としています。投稿ご希望の方は学会事務局までお問い合わせください。この特集論文原稿の〆切は12月末日必着とさせていただきます。

学会誌のコンスタントな発行と内容の充実をとおして、東北都市学会の一層の盛り上げを図ろうと考えておりますので、ふるってご応募ください。なお、上記に限らず自由投稿論文は随時受け付けています。「論文」、「研究ノート」、「フィールドノート」、「都市情報」、「書評」、「文献紹介」、すべてのジャンルで受け付けます。投稿にあたっては、研究年報各号に掲載している[研究年報投稿規程]にしたがって原稿を作成のうえ、下記『研究年報』編集委員会宛にお送りく

ださい。なお、従来のような紙媒体による投稿に限らず、Word形式の論文データを添付した電子メールによる投稿も受け付けます。

#### 『研究年報』編集委員会

〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾 30  
福島工業高等専門学校コミュニケーション情報学科  
松本行真研究室気付(編集担当)  
Tel 0246-46-0850  
E-mail [matsumoto.m@fukushima-nct.ac.jp](mailto:matsumoto.m@fukushima-nct.ac.jp)

#### 会員の状況 2012年8月末現在

一般個人：81 一般学生：1 団体：5  
(日本都市学会会員 87)  
地域個人：20 地域学生：1  
合計会員数 108

#### 2012年度会費納入のお願い

前号でも告知しましたが、2012年度の会費納入をお願いします。学会の活動は、会費によって支えられています。会員の皆様の迅速な納入をお願いいたします。うっかり滞納をされている会員もおられるかと思えます。納入にご協力ください。また、3年以上滞納されている会員の方には別途、連絡いたします。

なお、会費請求書を同封いたしましたので、郵便振替あるいは銀行振込をご利用ください。会費は次のとおりです。なお、2009年度から東北都市学会費は個人、学生会員とも1,000円下がっていますのでご注意ください。

#### [会費]

一般個人会員 9,000円  
地域個人会員 5,000円  
一般学生会員 7,000円  
地域学生会員 3,000円  
団体会員

東北都市学会費 10,000円×口数+日本都市学会費 4,000円

#### [納入方法]

郵便振替 02250-2-42389 東北都市学会  
郵便貯金口座 18140-27225001 東北都市学会  
銀行口座 七十七銀行 仙台市役所支店  
(普) 5253861 東北都市学会 会長 日野正輝

## 東北都市学会役員 (2010.10~2012.9)

会長 日野 正輝【本部支部会長理事】

理事 北原 啓司(青森)

理事 石沢 真貴(秋田)

理事 佐藤 慎也(山形)

理事 吉野 英岐(岩手):編集担当

### 【本部支部選出理事】

理事 千葉 昭彦(宮城)

理事 初沢 敏生(福島)

理事 吉原 直樹

理事 岩動 志乃夫:研究活動担当

理事 高橋 英博:渉外担当

理事 佐藤 信夫

理事 佐藤 直由:会計担当【本部監事】

理事 松本 行眞:庶務担当【本部常任理事】

理事 仙台市

(担当:企画市民局総合政策部政策計画課)

理事 仙台エリアマーク事業協同組合

(担当:松本 真明)

監事 阿見 孝雄・高橋 早苗

顧問 古田 義弘

## 事務局から

▼ 『都市フォーラム』は会員の皆さまのお手元に届く少し前には、HPでもご覧になれます。

▼ 2012 年度日本都市学会大会は 10 月 26 日～28 日の 3 日間で福岡県北九州市(西日本工業大学)にて開催です。

▼ 『研究年報』の項目でご案内したように、第 13 号は自由投稿論文に加え、震災関連の調査研究報告の特集を行います。会員の皆さま方のご協力をお願いいたします。

\*\*\*\*\*

### 都市フォーラム 24号

東北都市学会通信

2011 年(平成 23 年) 7 月 31 日発行

編集発行 東北都市学会事務局

〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾 30

福島工業高等専門学校コミュニケーション情報学科

松本行眞研究室気付

Tel 0246-46-0850 (直通)

E-mail matsumoto.m@fukushima-nct.ac.jp

<http://www.senkyo.co.jp/tau/index.html>

\*\*\*\*\*

## 2012 年度東北都市学会大会

### 「復興とボランティア活動」

東北都市学会会長 日野正輝

2011 年 3 月 11 年に発生した東日本大震災はマグニチュード 9 の激震、直後の津波襲来と合わせて、東北地方の特に太平洋沿岸地域に未曾有の大災害をもたらしました。中でも約 7m を超える津波が押し寄せた石巻市は、市街地の 46% にあたる 73 ㎥が浸水し、死者 3249 人、行方不明者 530 人の多大なる犠牲者を出しました(2012 年 3 月 31 日現在)。2012 年 5 月現在で、がれき 600 万トンが未処理のままで、さらに 18662 戸の仮設住宅で多くの被災者が不自由な生活を強いられているのが現状であります。

今、まさに急ピッチで復興への工事が進んでいるものの、まだまだゴールが見える状況にはありません。このような状況下、東北都市学会は一日も早い復旧を願い、また学会として今できることを実行し、多少なりとも石巻市の復興の一助になるべく、地域大会の開催を計画いたしました。震災直後から石巻には多くのボランティア団体が活動し、復興に大きく貢献すると同時に彼らの多大なる活動に敬意を表しつつも、その活動内容、課題、今後へ向けての注意点等を明らかにし、後世に伝えていくことは当然の義務であり、やらねばならない責務の一つであると考えます。テーマを「復興とボランティア活動」に設定し、各方面の専門家による真摯で活発なシンポジウム、文化講演会を開催します。そして一般発表の多くの研究報告やエクスカージョンでの視察と合わせて実り大きな大会になることを期待します。

【主催】東北都市学会、石巻市、石巻専修大学 【共催】日本都市学会、三陸河北新報社

【開催時期】11月10(土)～11(日)

【場所】石巻専修大学5号館

【日程】

10日(土)8時30分～17時

8時30分～12時 エクスカーション『被災地の“今”を知る現地見学会』

(貸し切りバスにより被災および復興現場見学:事前予約制)

仙台駅東口(代々木ゼミナール前)発8:30→石巻駅10:00→石巻魚市場、  
女川市街地等

※ 仙台駅から乗車:3,000円、石巻駅から乗車1,000円

12時15分～12時45分 東北都市学会第2回理事会(会議室6)

12時50分～13時20分 東北都市学会会員会(会議室6)

13時30分～17時 研究発表(一般教室5302 5303 各50名)

17時30分～19時30分 懇親会 石巻河北ビル交流サロン(会費3,000円)

11日(日)9時～16時

9時～12時 公開シンポジウム『復興とボランティア活動』(階段教室5301)

①基調講演:亀山 紘氏(石巻市長)

②シンポジウム

コーディネーター:吉原直樹氏(大妻女子大学)

パネリスト :増田 聡氏(東北大学大学院)

菅野 拓氏(NPO パーソナルサポートセンター)

山本 隆氏(社団法人ピースボート災害ボランティアセンター)

畠山卓也氏(石巻市立北上中学校校長)

重川希志依氏(石巻専修大学客員教授)

12時10分～13時 昼休み

昼食 4階カフェテリア 演奏 3階ホール

ピアニスト清塚信也氏、バイオリニスト小林正枝氏による復興演奏会

13時～15時30分 (一般教室5302、5303)

【分科会】13時～14時05分

(1) 住まいと暮らし コーディネーター:菅野拓氏

(2) 子育てと教育 コーディネーター:佐々木宏子氏

(3) スポーツ・医療・健康 コーディネーター:井上和徳氏

【文化講演会】14時10分～15時30分

司 会 : 若月 昇氏(石巻専修大学)

講演内容 : 『教育・文化からの再生(仮題)』

銭谷真美氏(独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館館長)